

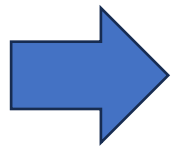
個別避難計画について

町田市地域福祉部福祉総務課

2024年12月12日

個別避難計画とは

- 高齢者や障がいのある方など、災害時に一人では避難することが困難な方（避難行動要支援者）について、**誰が支援するか、どこに避難するか、避難するときにどのような配慮が必要かなど**、あらかじめ記載した個別の計画



**発災時に生命を守るためにする行動を避難支援者と
ともに決めておくもの**

- 本人や家族を中心に、地域のみなさまや福祉専門職など避難支援関係者と一緒に作成
- 作成対象は、**避難行動要支援者名簿**に登載された方全員

避難行動要支援者名簿とは

災害時に自ら避難することが困難な避難行動要支援者について、避難の支援や安否の確認、その他必要な支援を実施するための基礎となる情報を集約した名簿のこと。

個別避難計画作成の背景①

< 2011年 東日本大震災の教訓 >

被災地全体の死者数のうち、

- ・ 65歳以上の高齢者の死者数は**約6割**
- ・ 障がいのある方の死亡率は被災住民全体の死亡率の**約2倍**



2013年 災害対策基本法の改正

「避難行動要支援者名簿」の作成が義務化

個別避難計画作成の背景②

< 近年の災害における被害状況（高齢者） >

- ・ 2019年 台風19号

全体の死者のうち、65歳以上の高齢者の割合は**約65%**

- ・ 2020年 7月豪雨

全体の死者のうち、65歳以上の高齢者の割合は**約79%**

< 台風19号における障害当事者団体向けアンケート（抜粋） >

- ・ 一人暮らしの知的障がいのある方

「避難するタイミングや避難場所がわからなかった」

- ・ 一人暮らしの視覚障がいのある方

「避難誘導してくれる人がいないと避難できない」

個別避難計画作成の背景③

避難行動要支援者名簿作成の義務化により、名簿の普及は進んだものの、避難の実効性の確保には至らなかった



2021年 災害対策基本法の改正
避難行動要支援者の円滑かつ迅速な避難を図る観点から
「個別避難計画」の作成が努力義務化

町田市の避難行動要支援者

避難行動要支援者名簿に
記載されている避難行動要支援者
※2024年4月1日時点

約9,500人

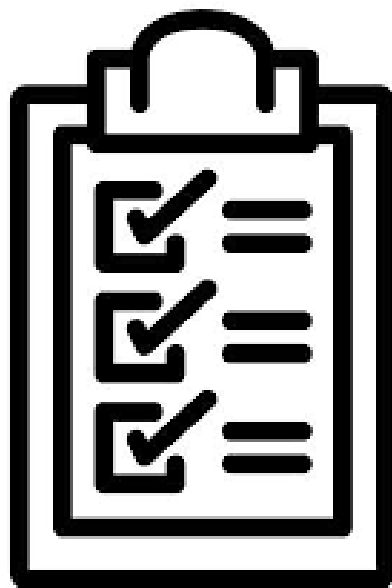
名簿の対象者

- ・ 身体障害者手帳 1 級及び 2 級の者
- ・ 愛の手帳 1 度及び 2 度の者（東京都）
- ・ 介護保険要介護認定要介護度 3 から 5 の者
- ・ その他市長が認める者

※施設入所者等は除く

町田市の避難行動要支援者名簿の提供

町田市避難行動要支援者の名簿情報の提供に関する条例に基づき、要支援者の命を守るため、平常時から避難支援等関係者に提供しています。



■ 避難行動要支援者名簿の提供先

- ・ 庁内関係各課
- ・ 町田消防署
- ・ 町田警察署、南大沢警察署
- ・ 民生委員・児童委員
- ・ 町田市社会福祉協議会
- ・ 希望する地区社会福祉協議会
- ・ 希望する町内会・自治会
- ・ 希望する自主防災組織

避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針

内閣府の「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針」（R3.5改定）では特に以下の事項に留意する必要があるとしています。（※内容を一部抜粋）

- 地域防災の担い手だけでなく、本人の心身の状況や生活実態を把握している福祉専門職や地域の医療・看護・介護・福祉などの職種団体、企業等、様々な関係者と連携して取り組むことが必要である。
- 個別避難計画の作成に当たっては、市町村の限られた体制の中で、できるだけ早期に作成されるよう、優先度が高い方から作成することが適当であり、優先度が高いと市町村が判断した者について、地域の実情を踏まえながら、改正法施行後からおおむね5年程度で取り組んでいただきたい。

避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針

・できる限り早期に避難行動要支援者全体に計画が作成されるようにするためには、市町村が作成する個別避難計画として、

① 市町村が優先的に支援する計画づくりと並行して

② 本人や、本人の状況によっては、家族や地域において防災活動を行う自主防災組織等が記入する計画づくりを進めることが適当である。

町田市のスケジュール

庁内外の連携体制を整備し、計画作成を推進していきます。

計画作成推進に向けたスケジュールは、概ね以下のとおりです。

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
町田市災害時要配慮者対策推進会議 開催 避難行動要支援者 名簿対象者の見直しや個別避難計画作成の進め方など 検討	専門職向け説明会 地域向け説明会 実施 避難行動要支援者 等管理システム 導入	モデル地区として 鶴川地区での 個別避難計画作成 開始	町田市全域で計画作成の優先度の 高い対象者の個別避難計画作成	

個別避難計画の作成パターンについて

Q 対象者は、自らまたは家族・友人などとともに避難を判断し、避難することができるか？

NO

YES

Q 対象者には、地域に家族や友人以外で、普段から気にかけてくれる人や見守り・声かけをしてくれる人がいるか？

本人または家族・友人で個別避難計画の作成に取り組む

NO

YES

Q 対象者は、日頃から福祉や医療等のサービスを利用しているか？

地域の人と一緒に個別避難計画の作成に取り組む

NO

YES

必要な支援・サービスの利用を検討していただく

専門職と一緒に（地域の人との協力も得ながら）個別避難計画の作成に取り組む

個別避難計画の作成の流れ（モデル地区）

個別避難計画作成はおおまかに以下の流れで実施しています。

資料・様式の送付

町田市から対象者に個別避難計画作成を呼びかける周知のための資料と「同意確認書兼個別避難計画様式」を送付

個別避難計画の作成

作成パターンに応じて、同意確認書兼個別避難計画様式を使用して計画作成に取り組む

個別避難計画の共有

作成完了後、市でシステムに取り込み、避難支援に携わる関係者に計画を共有

No.	
氏名	

町田市 個別避難計画

- 災害対策基本法第49条の規定に基づき、この個別避難計画に記入した情報は、災害に備え、平常時から計画作成や避難支援を行う関係者と共有します。また、災害が発生し、または発生するおそれがある場合で、避難行動要支援者の生命・身体を災害から保護するために特に必要がある場合は、避難支援等の実施に必要な限度で、避難支援を行う関係者その他の者に対し、この個別避難計画の情報を共有します。
- この計画は、災害時に避難行動の支援が必ずなされることを保障するものではなく、また、避難支援を行う関係者は、法的な責任や義務を負うものではありません。

上記の内容を理解し、個別避難計画を作成（更新）することに同意します

記入日		年		月		日
本人署名 (代理署名)						
【代理署名者】						
氏名【						】
本人との関係【				】	連絡先【	】
住所【						】

※ **太枠** は必須記入項目です。その他は本人の状況に応じて記入してください。

計画作成日 年 月 日

1. 基本事項 ▶手引き4ページの記入例や注意事項を確認し、記入してください

フリガナ	年齢	歳	生年	西暦	年
氏名	性別		年月日	月	日
住所	町田市				
心身の状況	<input type="checkbox"/> 身体障害者手帳() <input type="checkbox"/> 愛の手帳() <input type="checkbox"/> 介護認定 () <input type="checkbox"/> 在宅人工呼吸器使用 <input type="checkbox"/> その他 ()				
連絡先	<input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> メール	住居の種類	<input type="checkbox"/> 一戸建て⇒主に()階で生活 <input type="checkbox"/> アパート・マンション ⇒()階建ての()階に居住		
同居人	<input type="checkbox"/> 一人暮らし <input type="checkbox"/> 同居人がいる <input type="checkbox"/> 同居人はいるが、日中は一人である				
緊急時の連絡先(家族等)①	フリガナ	氏名	連絡先	<input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> メール	
	本人との関係	<input type="checkbox"/> 子 <input type="checkbox"/> 夫 <input type="checkbox"/> 妻 <input type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 母 <input type="checkbox"/> その他()			
	住所	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居 ⇒ ※別居の場合のみ記入			
緊急時の連絡先(家族等)②	フリガナ	氏名	連絡先	<input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> メール	
	本人との関係	<input type="checkbox"/> 子 <input type="checkbox"/> 夫 <input type="checkbox"/> 妻 <input type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 母 <input type="checkbox"/> その他()			
	住所	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居 ⇒ ※別居の場合のみ記入			
担当のケアマネジャー・相談支援専門員等	事業所名	フリガナ	担当者名	連絡先	<input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> メール
	<input type="checkbox"/> ケアマネジャー <input type="checkbox"/> 相談支援専門員 <input type="checkbox"/> その他()				
	<input type="checkbox"/> 会話や文字の理解(支援方法:) <input type="checkbox"/> 移動(支援方法・使用用具等:) <input type="checkbox"/> 認知症の症状がみられる(具体的な配慮:) その他、本人の状況やそれに伴う配慮事項、服薬やアレルギー等の注意点など ※書ききれない場合等、必要に応じて別紙を添付				

この計画と一緒に、おくすり手帳やヘルプカードなど、必要な支援が分かるものを保管しておきましょう

2. 地震の避難計画 ▶手引き6ページを確認しながら作成してください

(1)地震の安否確認者 緊急連絡先①と同じ 緊急連絡先②と同じ ⇒安否確認者の情報は記入不要

フリガナ	氏名	連絡先	<input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> メール ()
本人との関係	<input type="checkbox"/> 地域の支援者(近隣住民等) <input type="checkbox"/> 同居していない家族・親族 <input type="checkbox"/> 友人・知人 <input type="checkbox"/> 福祉・医療等の専門職 () <input type="checkbox"/> その他()		
住所			

(2)地震の安否確認方法 直接見に行く 災害用伝言ダイヤル 災害用伝言板 その他()

(3)地震の避難先 自宅(在宅避難) ⇒「3. 風水害の避難計画」へ 自宅外 ⇒ 市が開設する避難施設の場合は避難先名称のみ記入

避難先名称	
避難先住所	

(4)地震の避難支援者 緊急連絡先①と同じ 緊急連絡先②と同じ 地震の安否確認者と同じ ⇒避難支援者の情報は記入不要

フリガナ	氏名	連絡先	<input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> メール ()
本人との関係	<input type="checkbox"/> 地域の支援者(近隣住民等) <input type="checkbox"/> 同居していない家族・親族 <input type="checkbox"/> 友人・知人 <input type="checkbox"/> 福祉・医療等の専門職 () <input type="checkbox"/> その他()		
住所			

(5)地震の避難時の移動方法 徒歩 その他()

移動手段	<input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> その他()
地震の避難での留意点	

3. 風水害の避難計画 ▶手引き8ページを確認しながら作成してください

(1)風水害の避難先 自宅(在宅避難) ⇒ 計画作成は終了 自宅外 ⇒ 市が開設する避難施設の場合は避難先名称のみ記入

避難先名称	
避難先住所	

(2)風水害の避難支援者 緊急連絡先①と同じ 緊急連絡先②と同じ 地震の安否確認者と同じ 地震の避難支援者と同じ ⇒避難支援者の情報は記入不要

フリガナ	氏名	連絡先	<input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> メール ()
本人との関係	<input type="checkbox"/> 地域の支援者(近隣住民等) <input type="checkbox"/> 同居していない家族・親族 <input type="checkbox"/> 友人・知人 <input type="checkbox"/> 福祉・医療等の専門職 () <input type="checkbox"/> その他()		
住所			

(3)風水害の避難時の移動方法 徒歩 電車 バス 自家用車 タクシー その他()

移動手段	<input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 自家用車 <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他()
風水害の避難での留意点	

個別避難計画の作成における留意事項

個別避難計画については、避難支援等関係者やその家族の安全が前提となるため、必ず支援が行われることを約束するものではありません。また、避難支援等関係者が法的な責任や義務を負うものではありません。

災害発生時は、自助・共助がきわめて重要であることが過去の災害から明らかになっています。日頃からご近所の方など地域の皆さまと顔の見える関係づくりを心掛けるなど、災害への備えをお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。